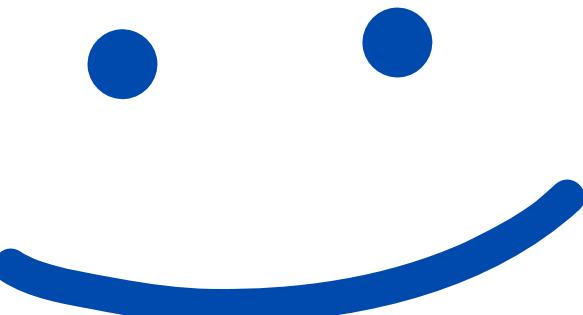


令和7年度 個人レポート



Hello!

子どもたちの  
好き！分かる！を引き出す  
授業づくり

英語科 高橋 友紀

# 3年間の授業改善の“こだわり”

変わらないこと・変化したこと・こだわったこと

R5 2・3年生担当

「あの子もこの子も参加できるにこだわる」

R6 3年生担当

「自信がつく・未来が広がる授業づくりにこだわる」

R7 1年生担当

「英語が楽しい！使える英語力の育成にこだわる」





R7年度意識していること



# 大切に していること



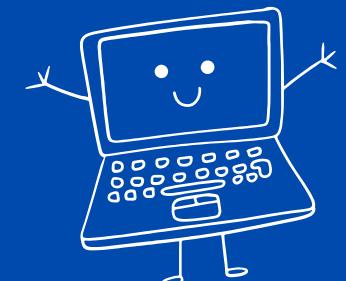
小学校の学びをつなぐ  
付いた力を土台にする



家庭学習とつなぐ  
基礎基本→自信をつける



好き！憧れを引き出す  
ALTと話せる！  
自分の英語が伝わる！



成長を実感させる  
before/afterで比較

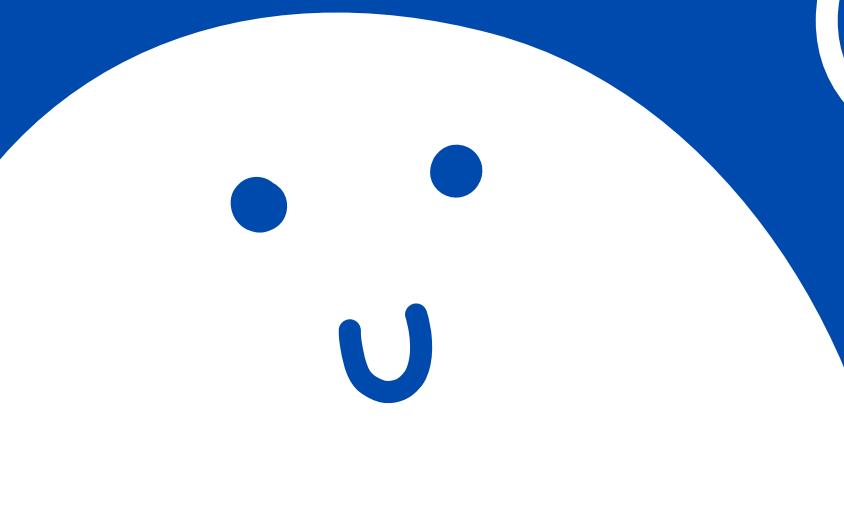
1年生は

① 英語が好き！

② 楽しい！

③ 分かる！

を大切に



# 英語の学習は好きですか？

● 肯定的な回答 ● 否定的な回答

京都府全体1年生（5月）



本校1年生（5月）

本校1年生（11月）

小学校の時

0%

20%

40%

60%

80%

100%



# 1. 「好き」「楽しい」と感じる主な理由 (多数派) ※geminiによる分析

## 授業が楽しい！

- 先生が面白い、やる気が出る: 先生の教え方や人柄が魅力的で、授業 자체が楽しい
- 「分かりやすい」教え方: 例え方、ジェスチャー、文法のきまりの覚え方などが工夫されており、理解しやすい雰囲気・サポート: 授業の雰囲気が好き、わからない時に先生や友達が助けてくれる/質問しやすい環境がある
- 意識の変化: 小学校時代は苦手だったが、中学校に入って先生の授業で好きになったという意見が多い

## ◆ 学習の達成感と成長実感

- 「わかる」喜び: わからないことが理解できるようになった時、問題が解けたり、新しいことを学んで力がついたと感じる時が楽しい
- スキルアップ: 小学校の頃より喋れるようになった、書く・話す・読むことが楽しい
- 成果: テストで高い点数が取れるため得意と感じる

## 実用性・将来への意識

- コミュニケーション: 外国の人と会話・交流ができるようになることへの期待
- 必要性: 英語を知っていて損はない、必要性を感じた
- 目標: 将来海外に引っ越したいなど、具体的な目標がある

## 2. 「嫌い」「苦手」と感じる理由 (克服すべき課題)

「好き」と答えた中にも難しさを感じる声や、

「嫌い」と答えた主な理由

難易度と量:

覚えることが多い

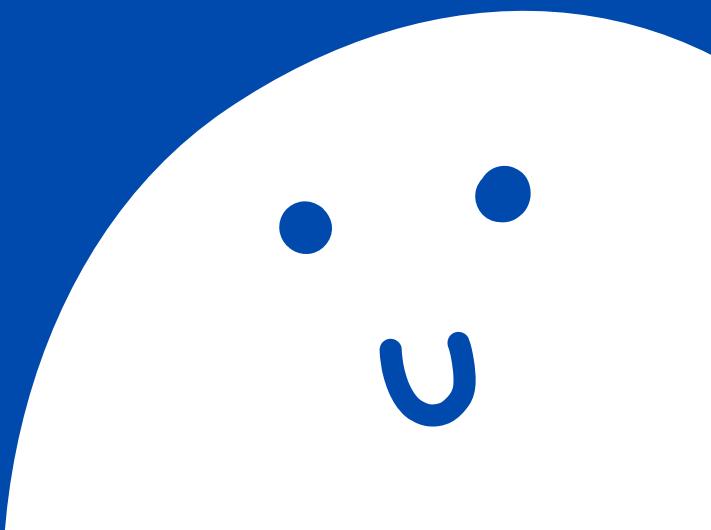
難しい単語や英文、文法の決まりが多く、理解が追いつかない

以前覚えた内容を忘れてしまうことがある

苦手意識:

「わからない」状態が続くことで嫌になる、苦手意識を持つ

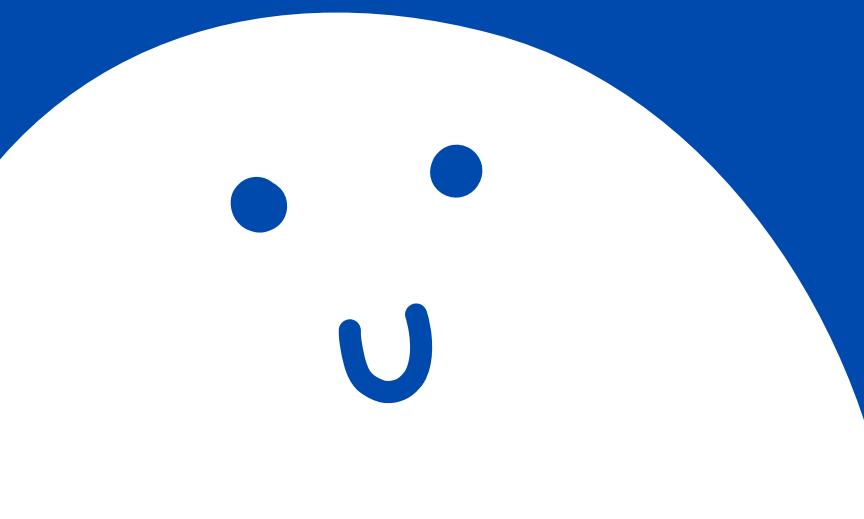
特定の分野（発音など）が苦手



# 英語を学ぶ

目的やゴールを  
明確にする

英語を使えたら楽しい！  
いろいろな“しあわせ”をつくる



# 校外学習で万博へ 外国人と 友だちになろう プロジェクト

とにかく外国人と  
友達になるミッション

- 名刺を渡す
- 手作りプレゼントを渡す
- インタビュー
- サインをもらう
- 写真を撮る



ならなかつた  
7%

プラスの体験になつた  
93%



Barbara Janina - Poland  
Renate Ginter  
Carl  
Linnea  
Oliver H.  
Anna G.  
Oscar B



全員が相手に伝えようと頑張って話せて、楽しかったです。みんなで「今の英語の意味はなんだろう」と聞き合って、それになんと返せばいいか考えて話せて、連携できて嬉しかったです。

サインをいただいた人の住んでいる国の良さや良いところ、観光地などを教えてもらいたいです。そして私たちが住んでいる日本の良さなどをもっと外国の方に伝えて交流を深めたいです。

## 英語は人と人を日本と世界をつなぐ言葉だと実感

勉強していなくても言えることがいっぱいあってアンケートという面で話していたので、仲良くできるという視点からはあまり良くなかったと思います。あと、手を握った時に力が強いと興味があると聞いた時があったので次話す時は握手もしようと思いました。



# みんな英語の歌が大好き

ユニットが変わると、授業前に流す歌を変える  
→ ゴール：英語の歌に親しむ

Unit 1: Hello, Goodbye (The Beatles)

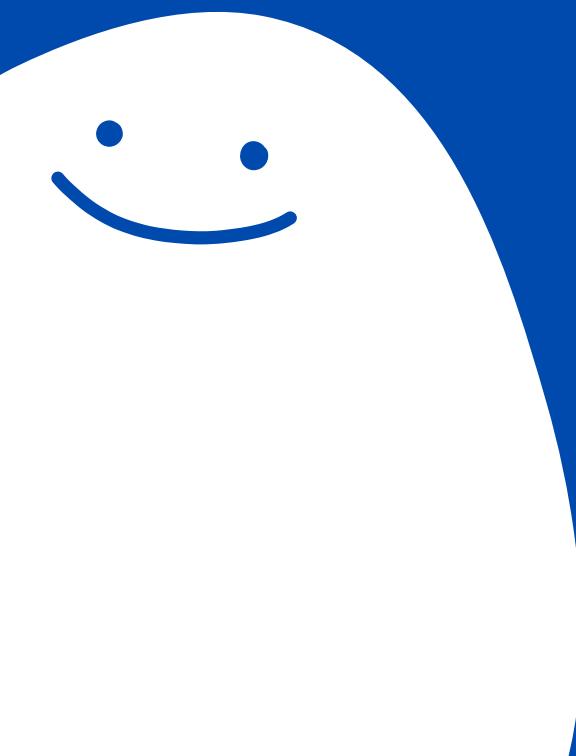
Unit 2: One Love (Bob Marley)

Unit 3: OB-LA-DI, OB-LA-DA (The Beatles)

Unit 4: Good Time (Owl City & Carly Rae Jepsen)

Unit 5: What Makes You Beautiful (One Direction)

Unit 6: Fight Song (Rachel Platten)



# 英語の歌は大人気♪—好きな活動アンケート—

英語の歌を流す

61

文法プリント

31

教科書の内容理解

31

教科書の音読

29

教科書の音読の録画

19

単語テスト

35

ペアで音読練習

22

ペアで聞き合う（2分間チャット）

14

Q-A（授業の初めに質問されて答える活動）

34

ALTの先生とのスピーキングテスト

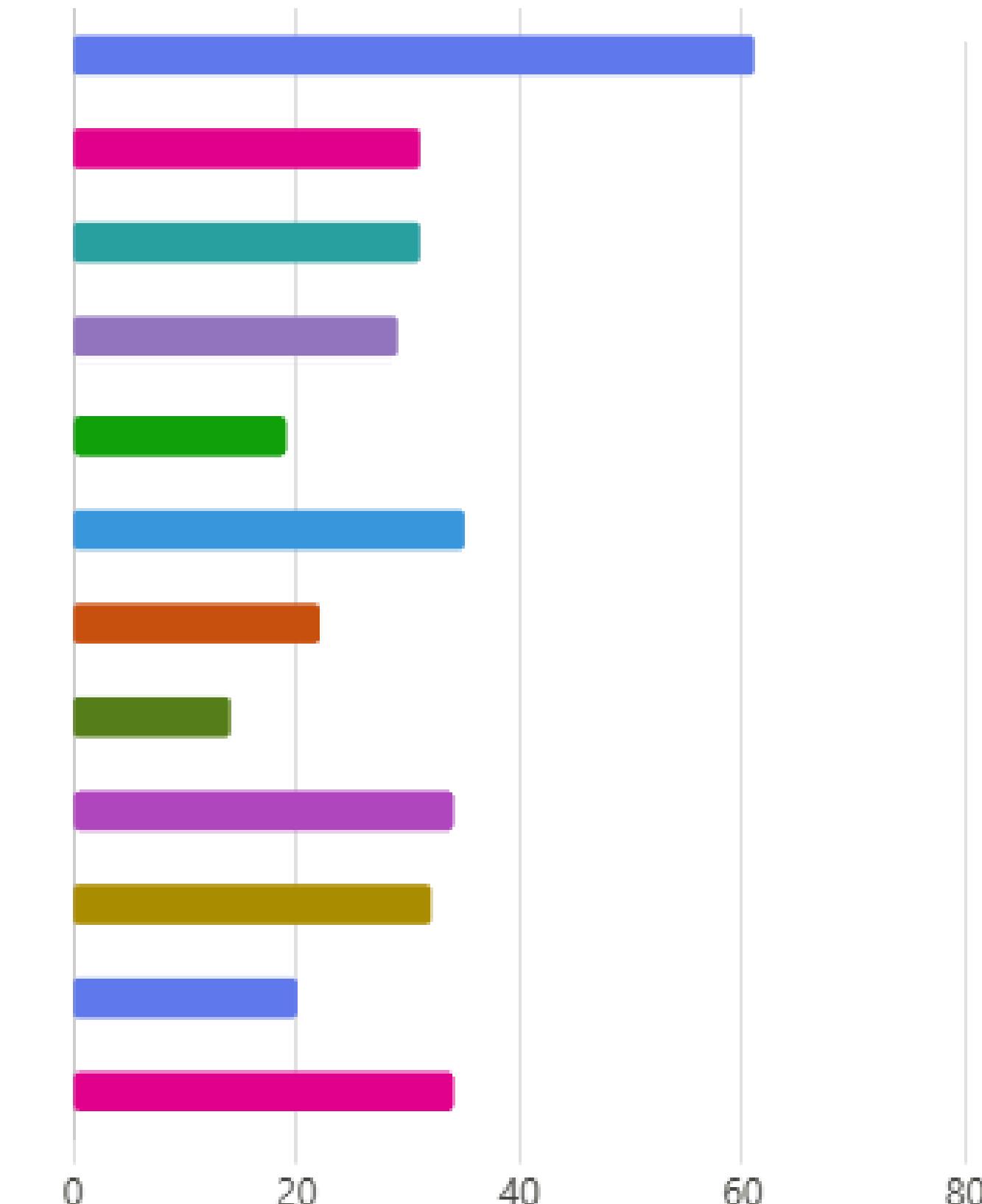
32

宿題や課題

20

リスニング（聞いて答える活動）

34





力を付けるために

授業の工夫

# 1 教科書 を楽しむ

普通に読むと  
おもしろくない  
→恋愛ストーリーに  
仕立てる  
「次まだ？」の声多数



## 2 2 帯活動①

2学期前半はQ-Aを  
毎時間全員に実施

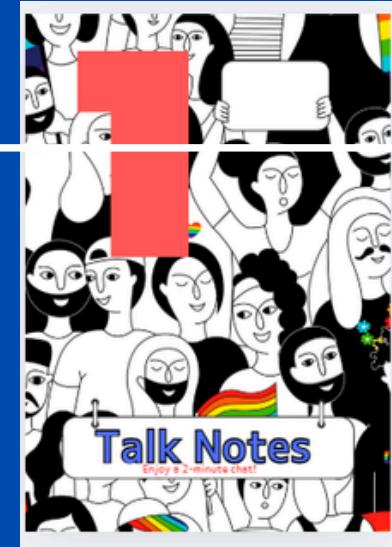
- (1) 質問を提示
- (2) 2文以上で答える



# 3 3 帯活動②

3 単現の s 導入後から  
2分間チャットの導入

- (1) 2分間Q-A
- (2) ライティング  
レポートティング





Tina: So, Hajin, are you from Seoul?

Hajin: Yes, I am.

Eri: Wow! That's so cool. I want to visit Seoul so much. I love K-pop.

Tina: I want to learn some Korean.

Eri: Me, too!

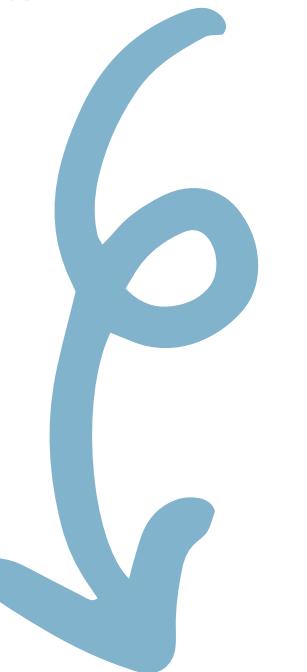
Kota: Say "Hello" in Korean, Hajin.

Hajin: "Anyong-Haseyo."

Eri: Anyong-Haseyo, Hajin!

ds Seoul ソウル [韓国]の首都 wow [感動・喜びなどを表して] わあ learn (～を) 習う、学ぶ some いくらかの、多少の  
Korean 韓国語

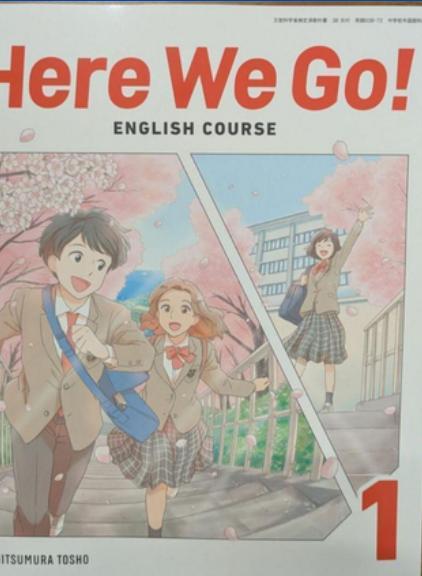
ティナとえり、2人はどうやってハジンの心をつかもうとしていますか？どちらが必死だと思いますか？英文を根拠にして、説明をしてください。



ティナとえり、2人はどうやってハジンの心をつかもうとしていますか？どちらが必死だと思いますか？英文を根拠にして、説明をしてください。

# 1 教科書 を楽しむ

普通に読むと  
おもしろくない  
→恋愛ストーリーに  
仕立てる  
「次まだ？」の声多数



何回も  
教科書を  
読みたくなる。





## 帯活動①

2学期前半はQ-Aを  
毎時間全員に実施  
(1) 質問を提示  
(2) 2文以上で答える

2



毎日全員と話せる。  
生徒理解が進む。英語が  
どのくらい使えるかわかる。

9. 10月は  
前の時間に提示した質問を  
全員に聞きました。

例：What do you want for your birthday?

5点満点

- 1点：単語で答える
- 2点：文で答えているが間違っている
- 3点：2文以上で答えてている
- 4・5点：工夫や感動がある。具体的。

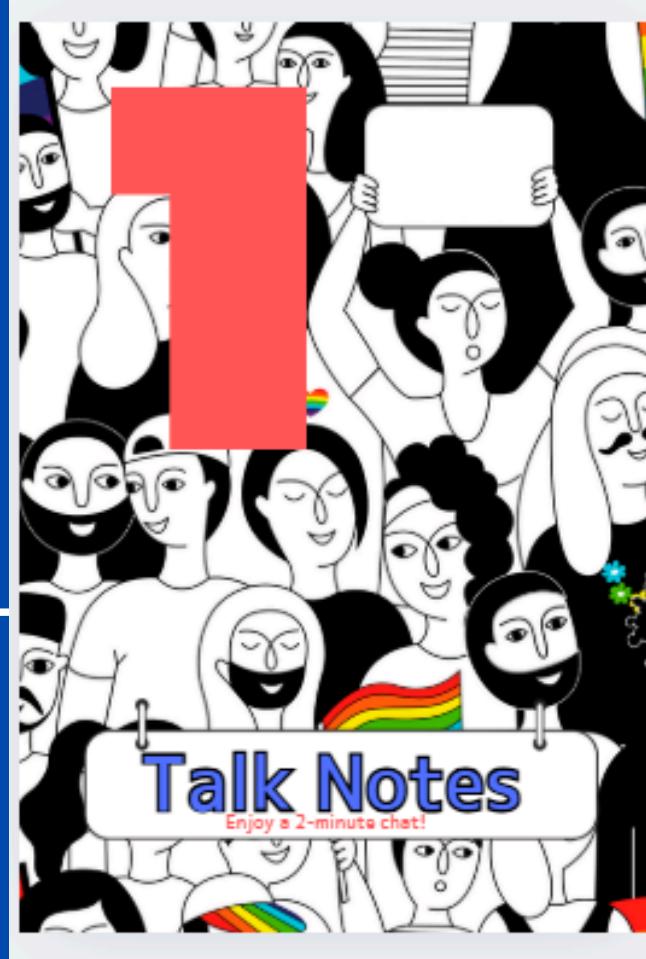


※待っている人はプリントや課題をする

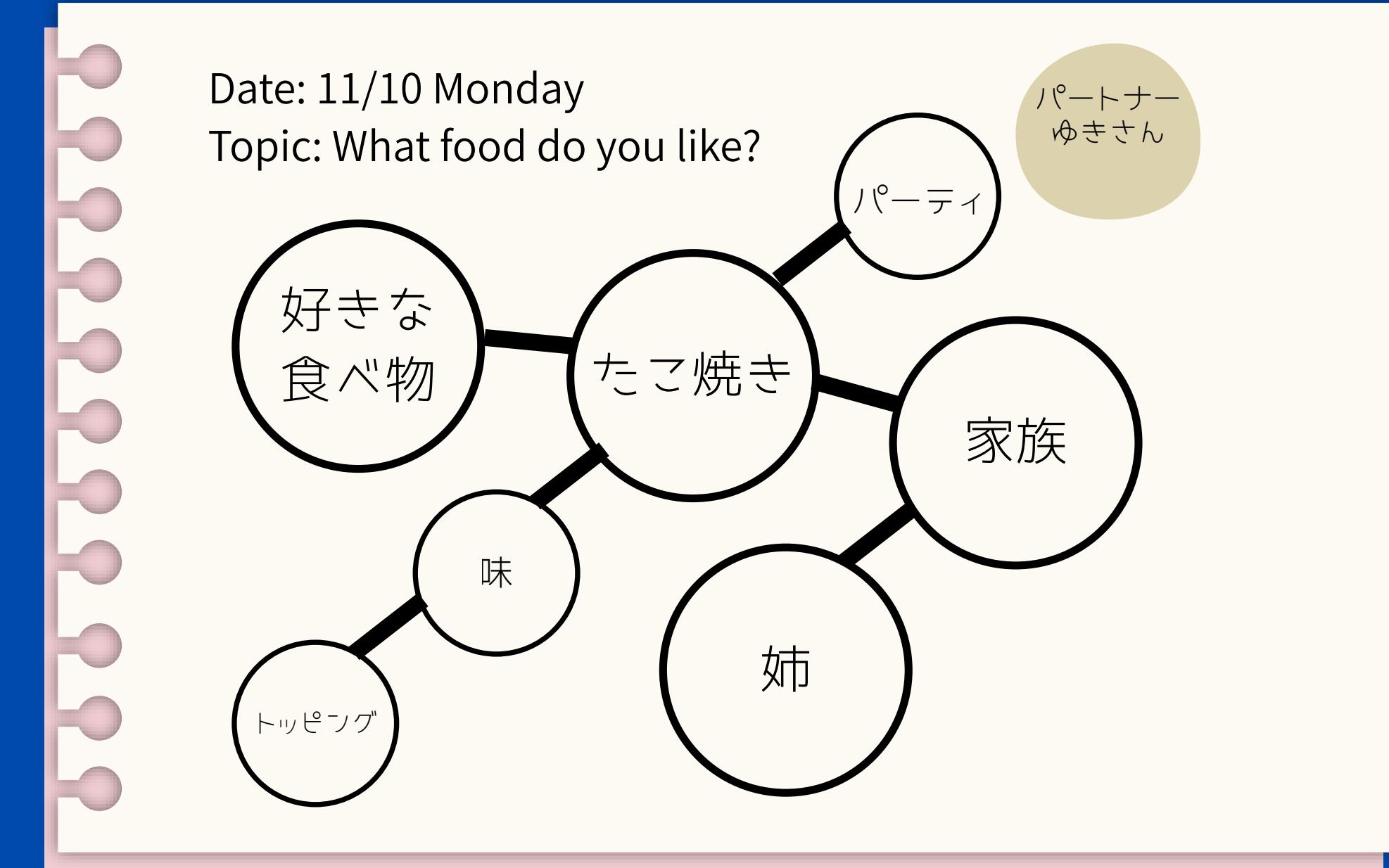
3

## 3 帶活動②

- 3 単現の s 導入後から  
2分間チャットの導入
- (1) 2分間Q-A
- (2) ライティング  
レポートティング



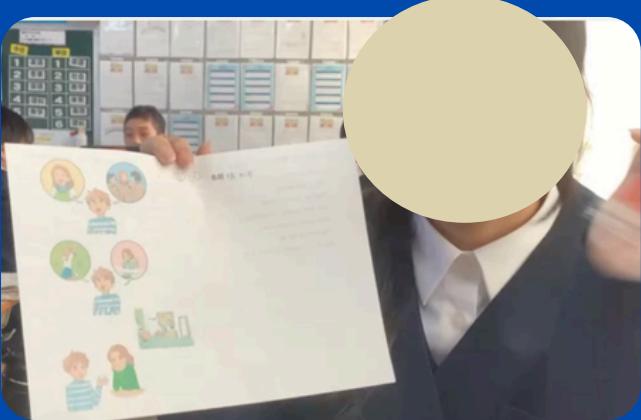
# Q-Aから2分間チャットへ



まだまだ始まったばかり。  
今はテーマを絞らずやっています。  
Q-Aをやっていたので、質疑応答は  
割と頑張っています。

# 授業の工夫

4



アウトプットを意識  
音読やリテルなど、  
練習した成果は  
録画するのが当たり前。  
練習の意識が上がる！

## 自由ノート

ノートに言えるようになったことを「作品」として残す。  
"こだわり"がみえる作品に。



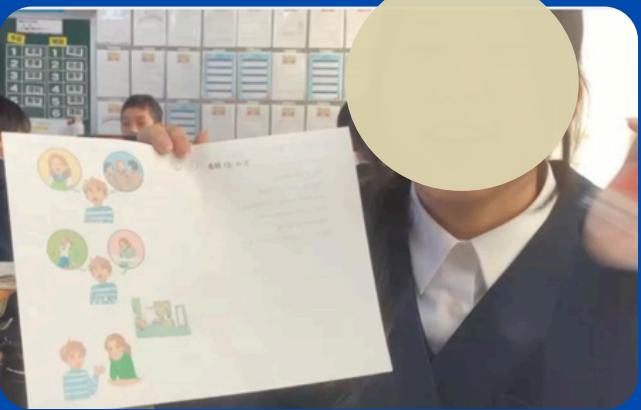
5

6



パフォーマンステスト  
ALTとのスピーキング  
テストを定期的に実施。  
目的・場面・状況の  
工夫を行う。  
リトライあり！

# 4



アウトプットを意識  
音読やリテルなど、  
練習した成果は  
録画するのが当たり前。  
練習の意識が上がる！

教科書の音読はお題をだして  
すべての役割を交代して録画

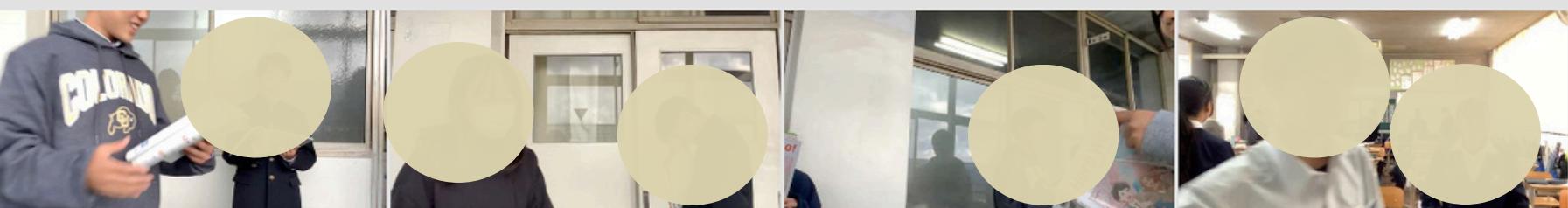
①その役に  
なりきる  
なりきり音読

②少しづつ  
リテリング  
スタート

③ゆくゆくは  
自分の思いや  
考え方を加えて  
音読



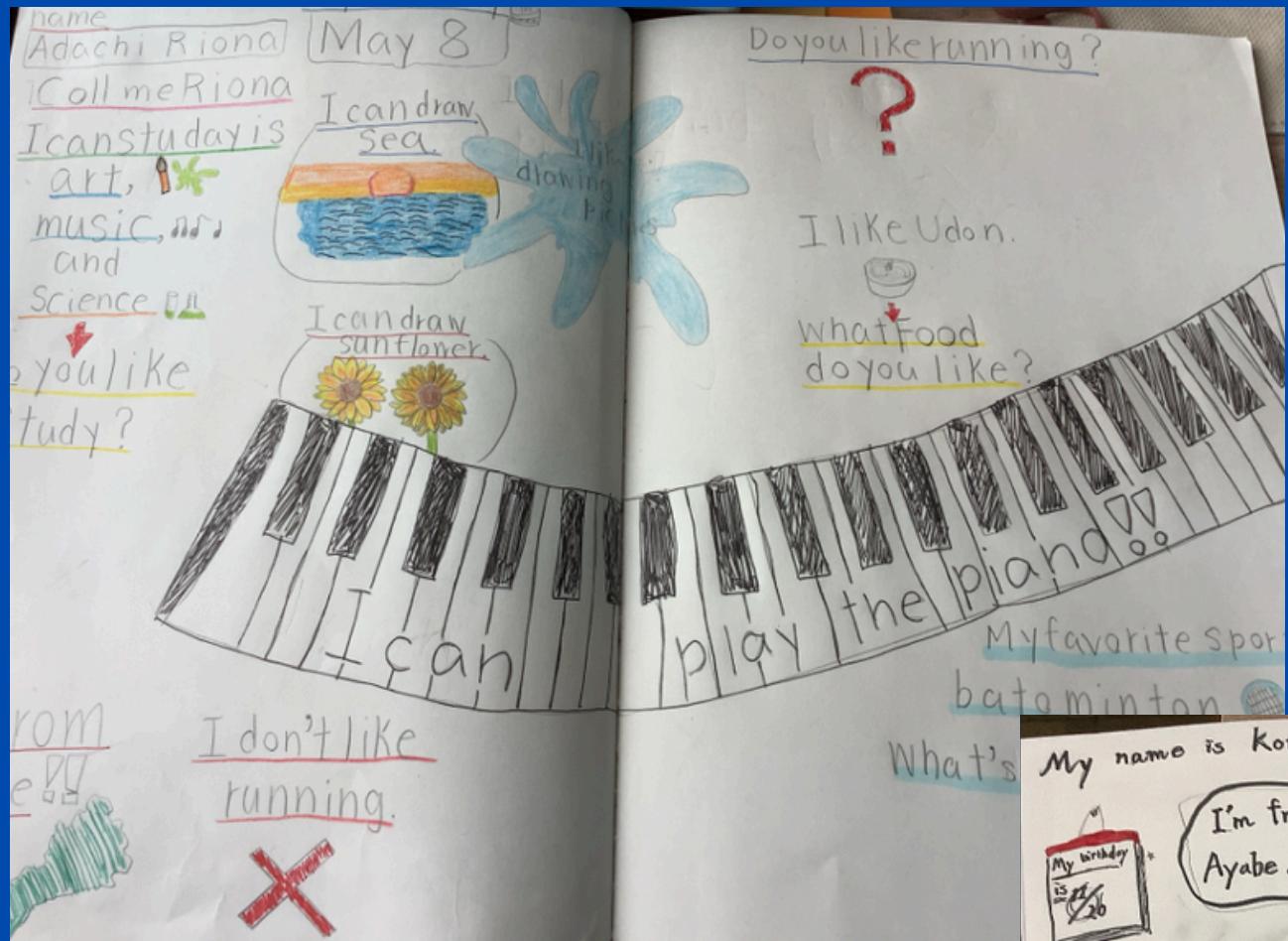
11月6日(木) 14:54 1/2 11月6日(木) 14:55 1/2 11月6日(木) 14:55 1/2



音読は録画が習慣化して  
みんな楽しく読んで  
います！



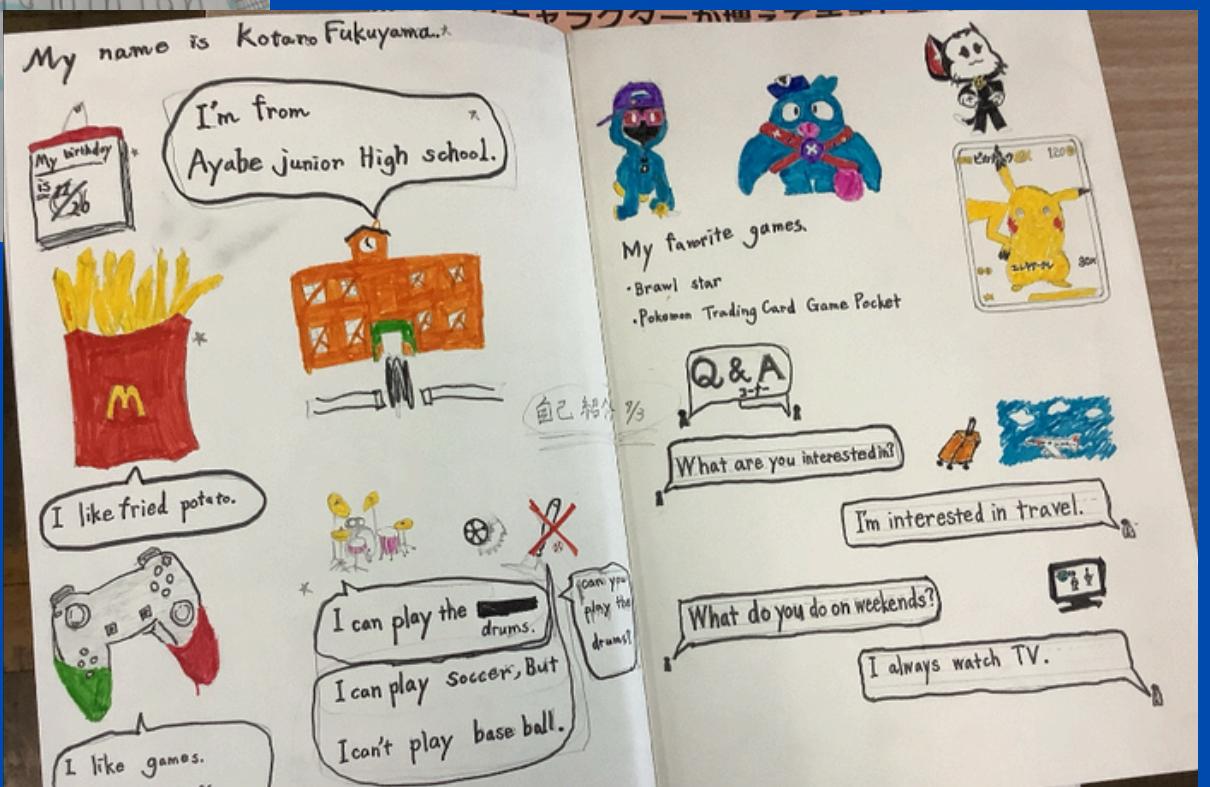
# 自由ノートを 表現ノートとして活用



こだわりが  
生まれる  
自己表現



ライティングの  
成長記録にも  
なります！



自由ノート  
ノートに言えるようになつたことを「作品」として残す。  
"こだわり"がみえる作品に。

5





パフォーマンステスト  
ALTとのスピーキング  
テストを定期的に実施。  
目的・場面・状況の  
工夫を行う。  
リトライあり！



緊張しながらも、  
自分の立てた目標に向かって  
また目的・場面・状況を  
理解した発表者が増加中

振り返り(具体的に書いてください)

(1)新しい先生とのスピーキングテストはどうでしたか？先生に自分自身や綾部中学校のことを伝え、先生のことを知るためにいろいろな質問ができましたか？先生の質問にスムーズに答えることができましたか？もっとしてみたい質問はありますか？

自分のことを知りえよう！くわしく話せた。相手のじょうほうも聞きながら自己紹介をしました。理由も言えた。

(2) インタビューの振り返り

- なぜその評価になったかを分析する(頑張ったこと・心がけたこと、足りなかつことなど)
- 授業でがんばったことが、成果となって表れたことなどアピール

授業で習ったことを取り入れながらでした。英文をもと正確にしゃべる。次はもとレフもんを入れる。

振り返り(具体的に書いてください)

(1)新しい先生とのスピーキングテストはどうでしたか？先生に自分自身や綾部中学校のことを伝え、先生のことを知るためにいろいろな質問ができましたか？先生の質問にスムーズに答えることができましたか？もっとしてみたい質問はありますか？

楽しく話せた。自分のこともたくさん話せたし、先生のことも知れて、深めて話すことができた。質問をたくさんして、会話を楽しめた。

普通のところは長めに話したりと工夫された。

(2) インタビューの振り返り

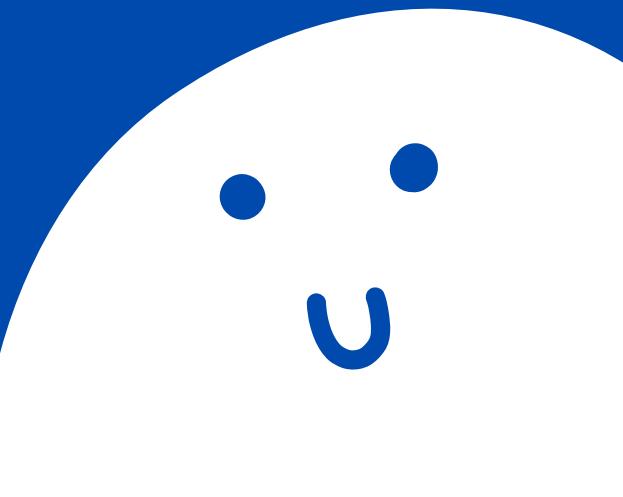
- なぜその評価になったかを分析する(頑張ったこと・心がけたこと、足りなかつことなど)
- 授業でがんばったことが、成果となって表れたことなどアピール

スラドを使ったのが良かった。そのおかげで話しやすかった。会話を成り立たせて、

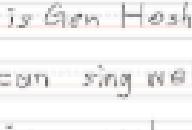
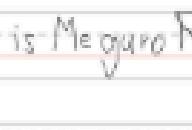
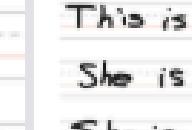
1つの話題を深めながら話すを意識した。あと、質問をいろいろすること。

反応が取れきてないから、次に行く。あと、正確さをがんばる。

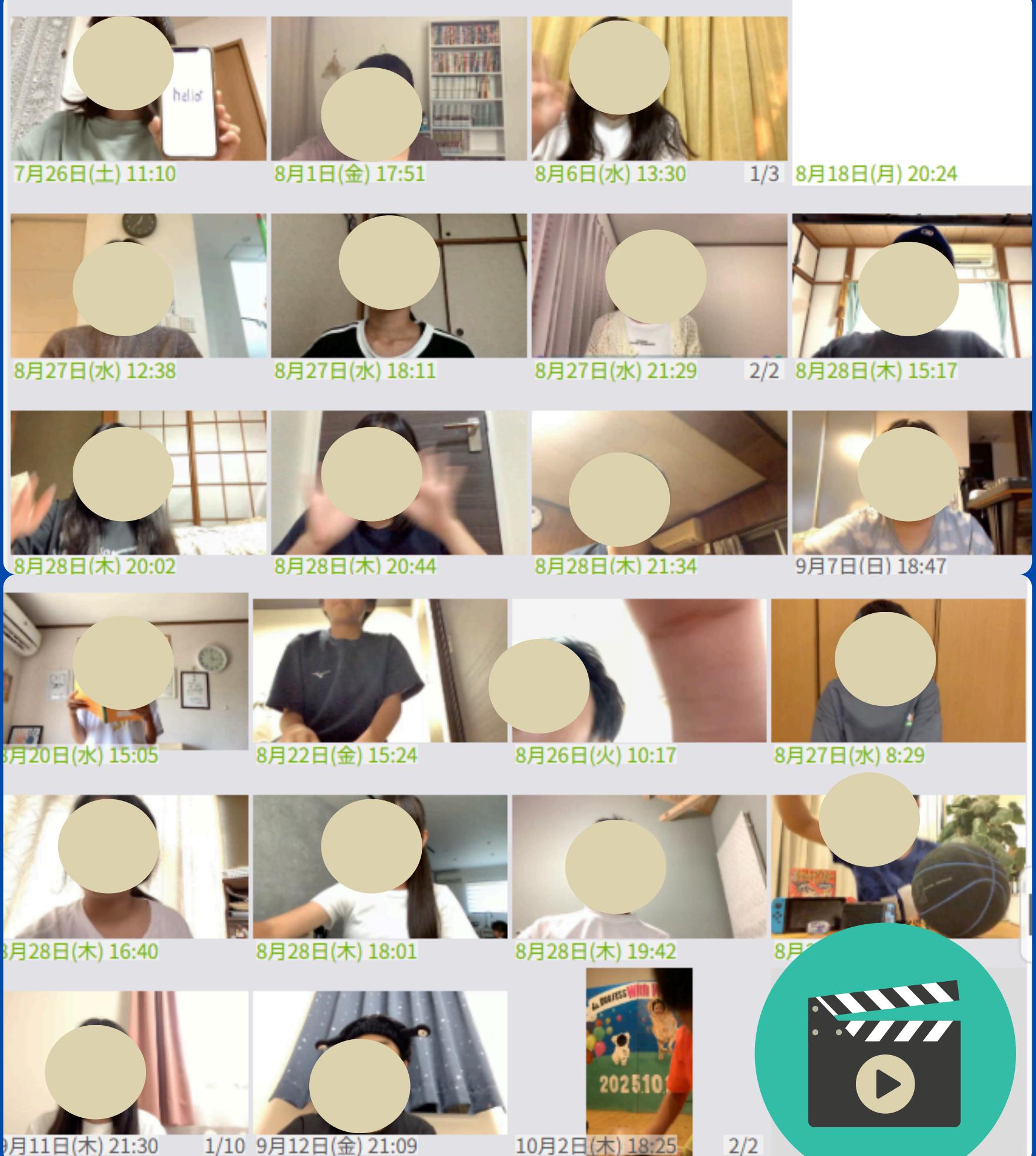
子どもたちは自分のこと  
を伝えるのが大好き



# 自分の推しを伝える

<p>This is Umi.</p> <p>She can eat  fish.</p> <p>She is pretty .</p>	<p>This is Ren Ishikawa.</p> <p>She can play basketball.</p> <p>She is pretty.</p> <p>She is a student.</p>	<p>He is emperor Kangxi.</p> <p>He can do good politics.</p> <p>He is perfect emperor.</p>	<p>This is Nyoudokazika             &lt;img alt</p>
--	---	--	---

# 夏休みの課題



## 自己紹介動画

家でしかできないこと、  
先生が知らないことを紹介  
しよう！

家族を  
巻き込む

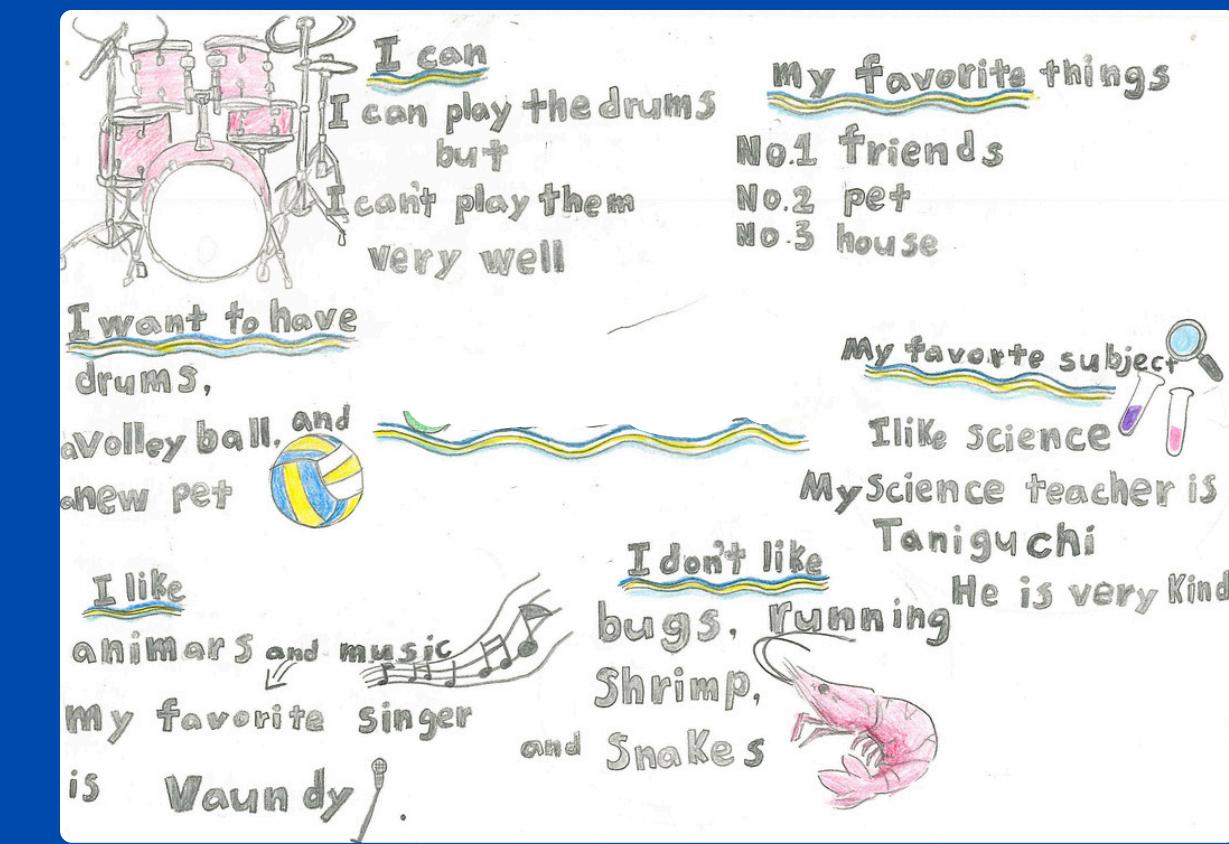
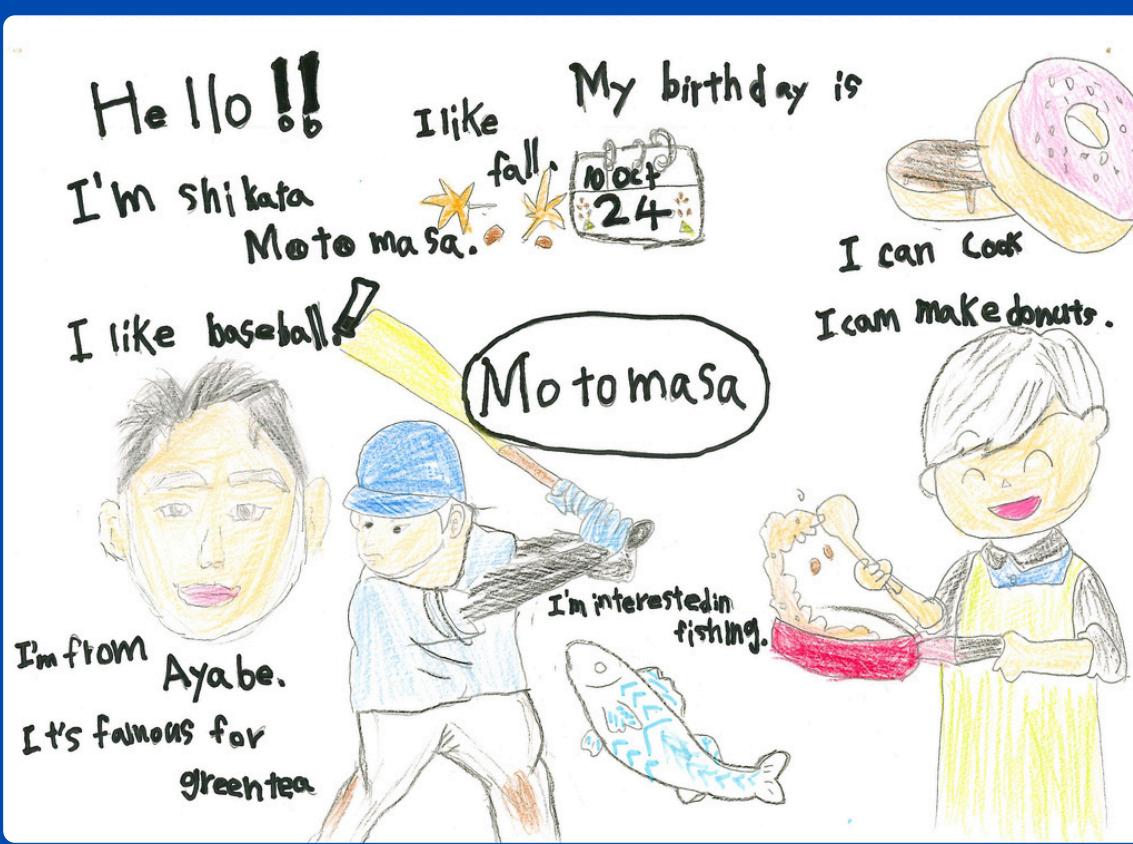
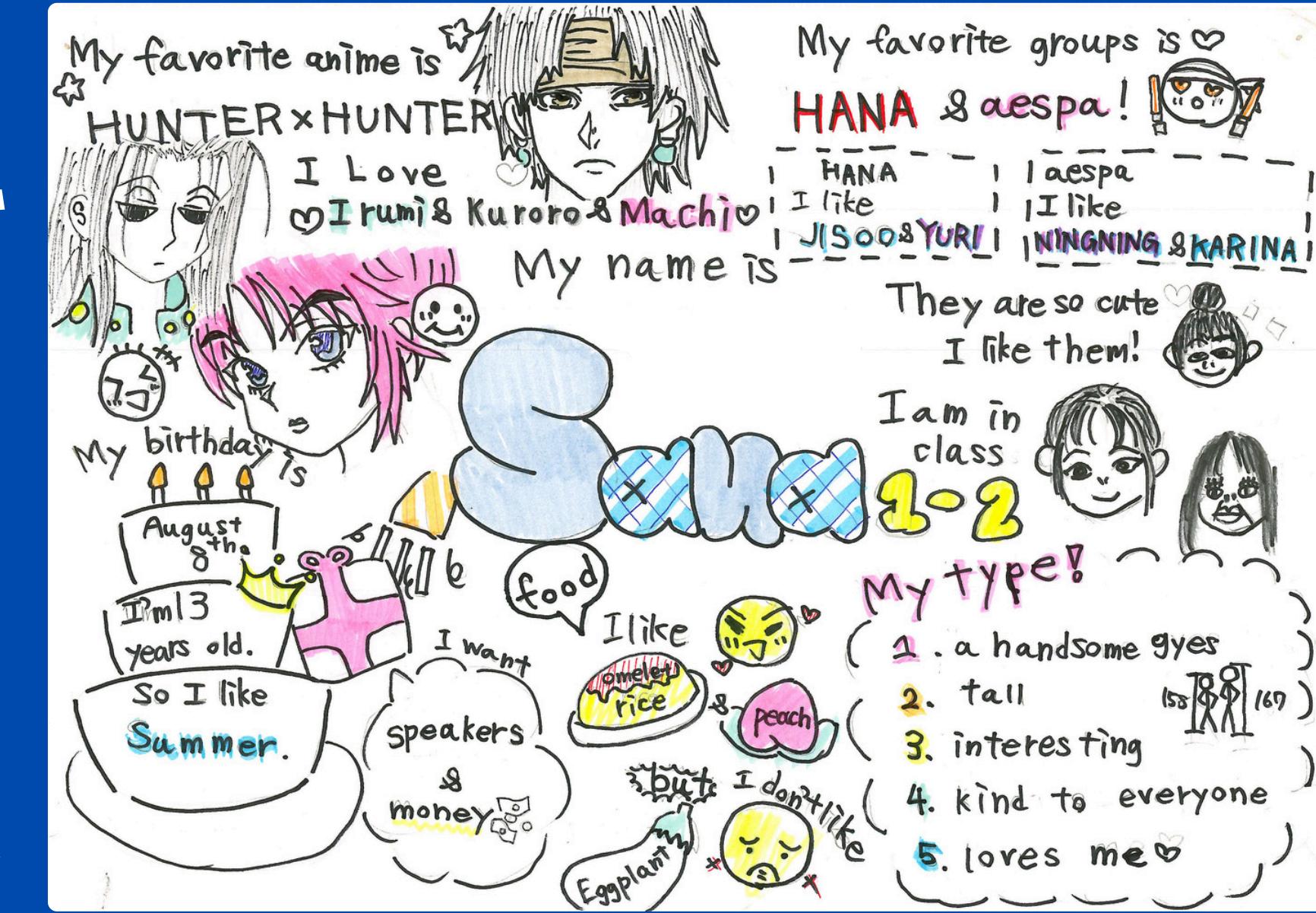
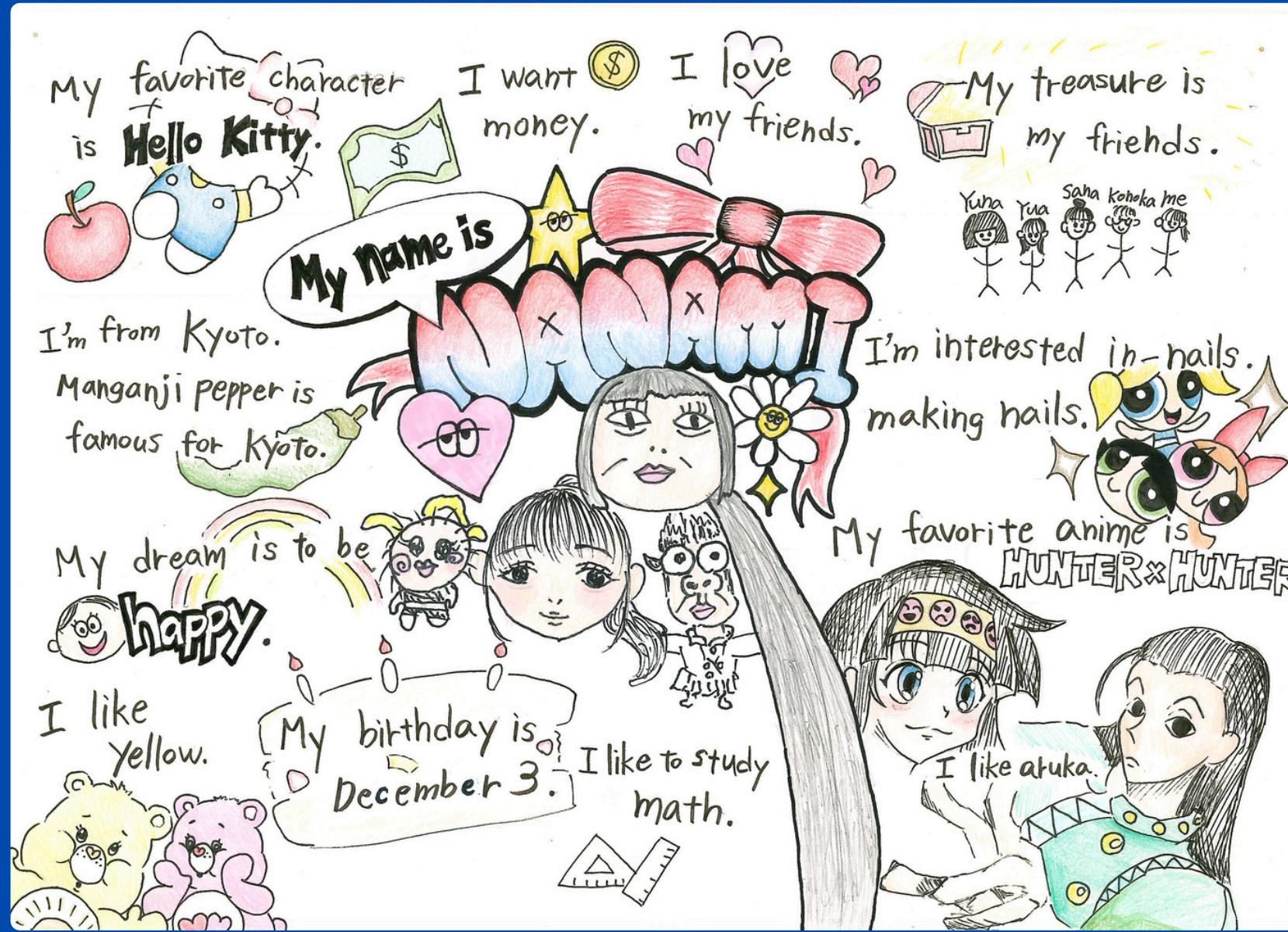
宝物を  
紹介

変装して  
自己紹介

得意な  
ことを紹介



# フイブオリーブ・ピック展示用 自己紹介ポスター





自己紹介→Q-A  
まずは自分のことを伝える。  
その後の即興のやり取りで  
会話を繋ぐことを意識する。



見方・考え方を  
働かせるって？



# 言語活動を深める

量  
回数

1 学期～2 学期前半  
とにかく自分のことと相手のことをたずねる  
be動詞、一般動詞（1・2人称）、canの世界  
たくさん情報を伝える言語活動



質  
内容

2 学期後半～  
3 単現の s (3人称) の世界  
誰に、何を、なんのために伝えるかを  
より深く、広く考える言語活動



# 見方・考え方を働かせる



**目的を意識**

～何のために伝えるのか～



**状況や場面**

～いつ、どこで伝えるのか～



**相手との関係性**

～伝える相手は誰？～



**伝え方の工夫**

～伝わった実感をもてたか～

- ①目的・場面・状況を何度も共有
- ②相手にその目的が届くことを意識



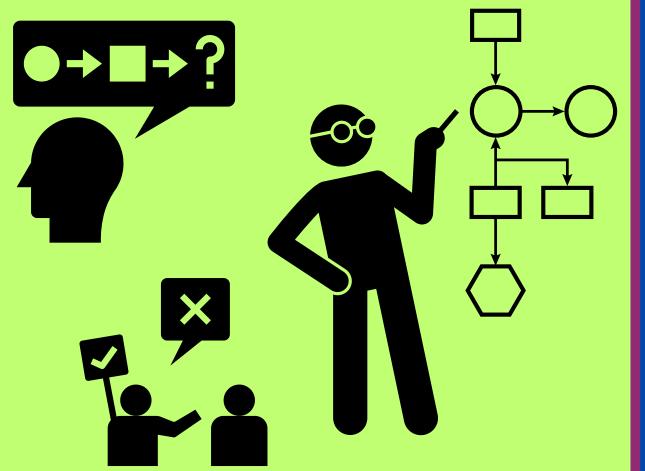
# 見方・考え方を動かせる

## 考え方



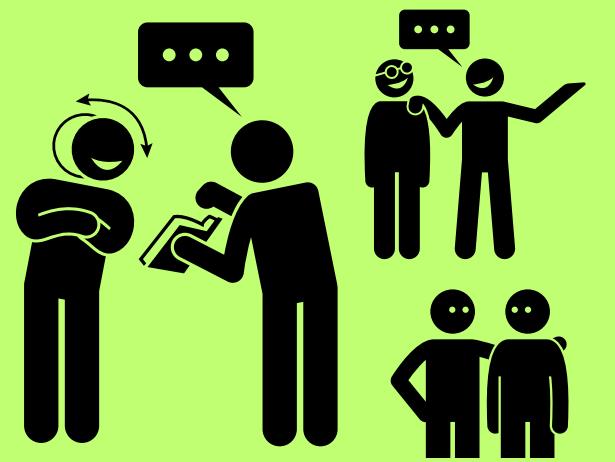
表現・言語活用力  
～うまく伝えるには？～

## 考え方



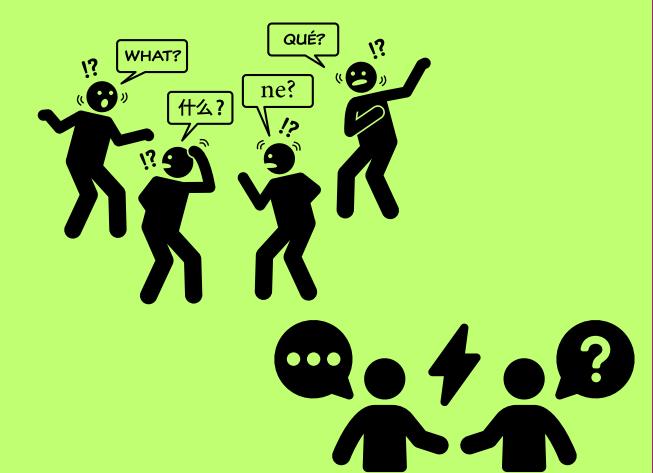
論理性  
～理由や順番の工夫～

## 考え方



引き出す力  
～相手との距離を縮める～

## 考え方



再構築力  
～相手の反応を踏まえ、表現する力～

③目的を達成するために表現を磨く

④関係性を築く（一方通行×）

⑤①～④の一連の流れで終わらない

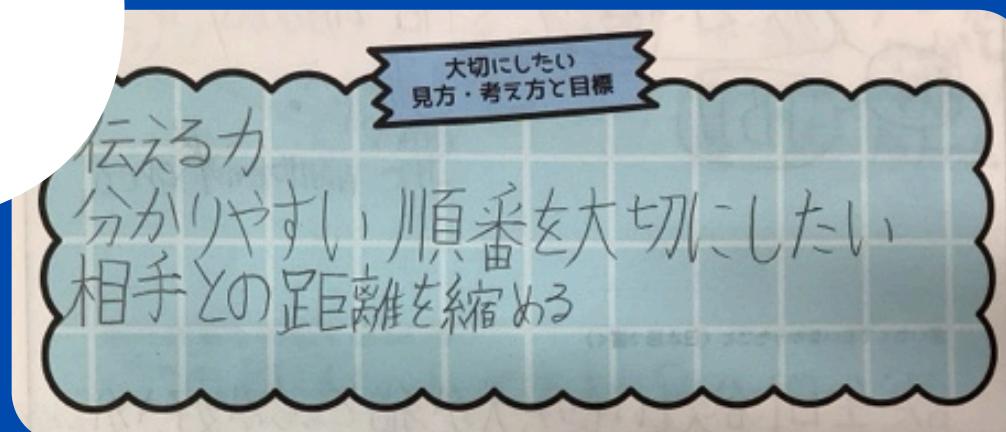
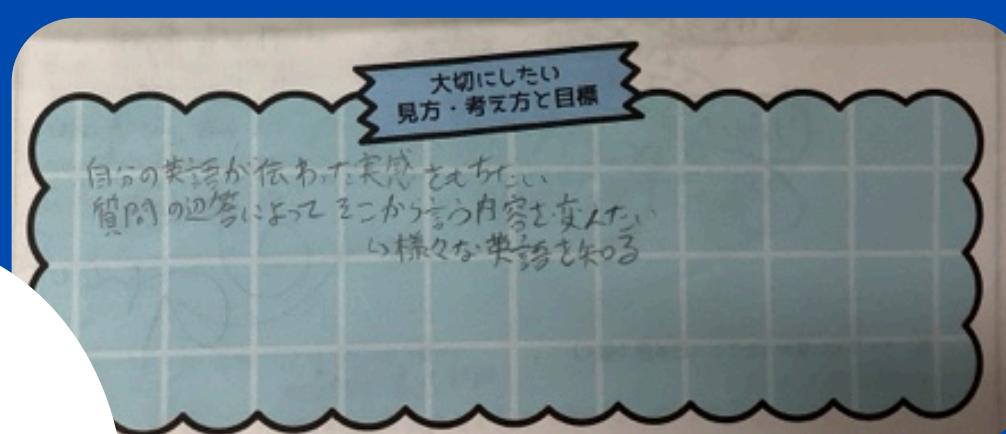
「再構築力」相手に合わせて内容や表現を変える、最後にまとめる、報告する力を伸ばす。

# 見方・考え方を働かせる



## 見方・考え方を働かせる教師の意識 + 見方・考え方を働かせる生徒の育成

2分間  
チャットで  
意識  
すること



自分の英語が伝わった  
実感をもちたい。  
質問の返答によって  
そこから違う内容を  
変えたい。そのため、  
様々な英語を知る。

目標：伝える力  
分かりやすい順番を大切に  
したい。  
相手との距離を縮める。

子どもたちが意識した  
ことができたかどうかを  
問い合わせ続ける。

さらに視点を加えたり、  
意識したかどうかを  
振り返ったりする時間を  
大切にする。



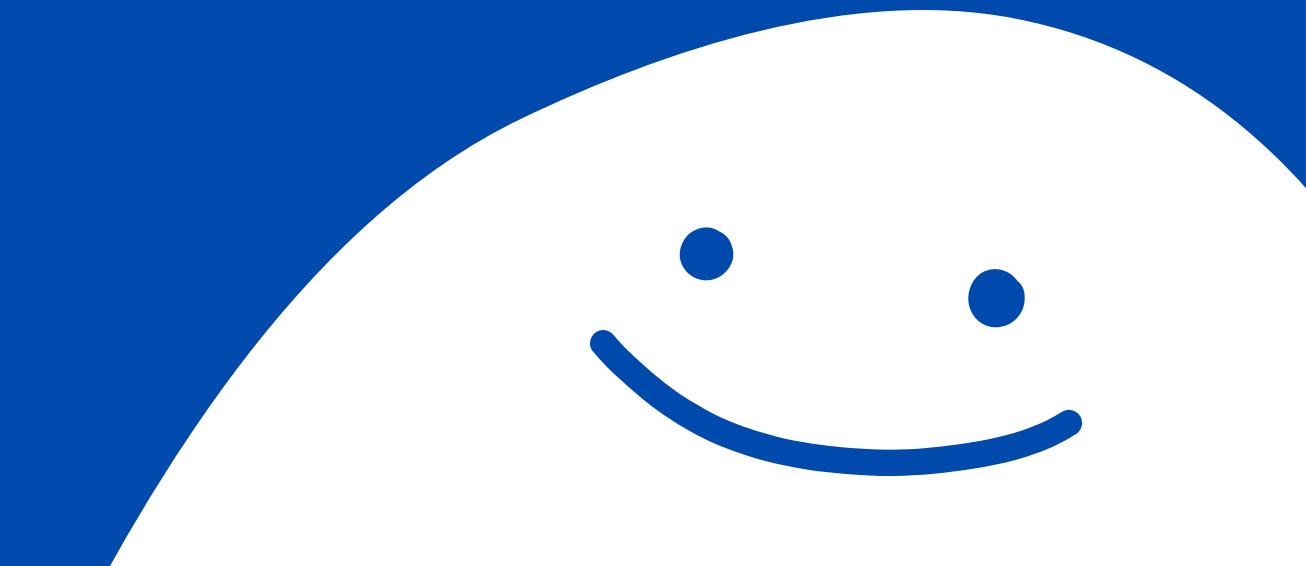
成果と課題



# 英語科の強味

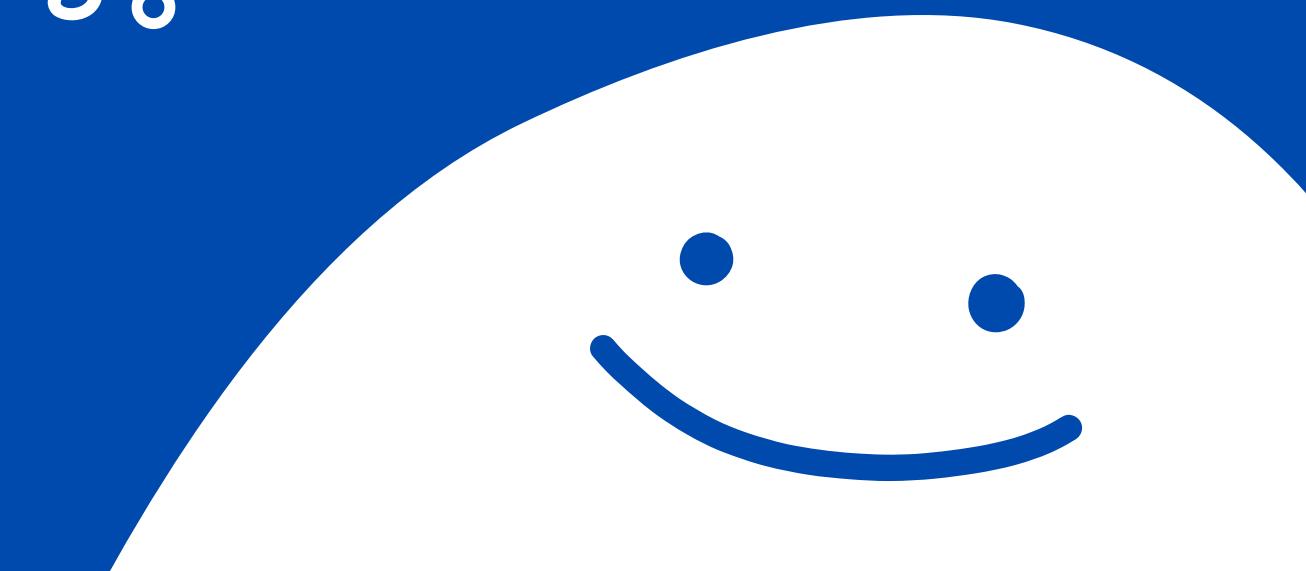


- ① 子どもたちのことを一番知っている
- ② 子どもたちと毎日話すチャンスをつくれる
- ③ わかる、できるが自信や憧れ、夢につながりやすい
- ④ 誰とでも関わるタフさが育つ
- ⑤ ほめる場面だらけ



# 今年の1年生＊成果＊

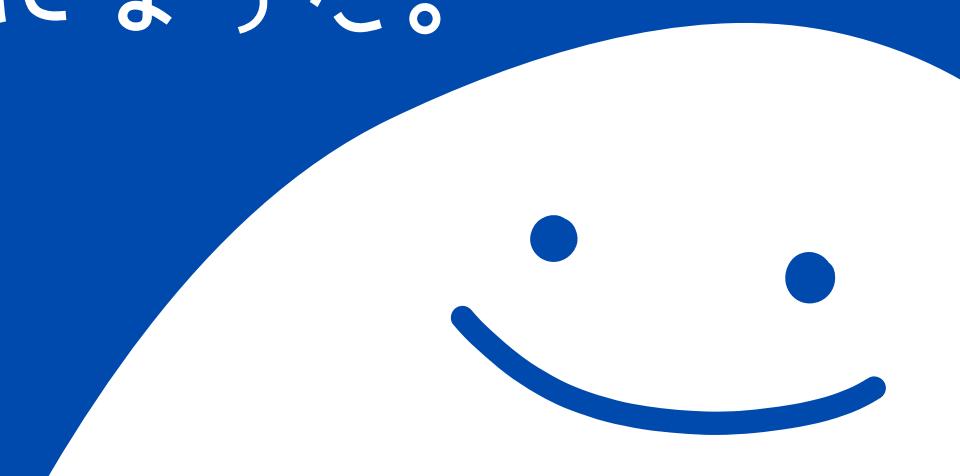
- ＊英語が好き、英語が好きになった生徒が増えている。
- ＊苦手でも好きだと思っている生徒の増加。
- ＊話す、書くが当たり前になっている。  
また、それが自信になっている。
- ＊原稿なし、翻訳ソフトなしで頑張れる。
- ＊英語学習アプリ“デュオリンゴ”で  
つながりができる。



## 子どもたちの振り返り



- ★英語が好きになった。これが一番嬉しい。
- ★4月は英文が読めなかつた学んでいくと単語の意味があかるよくなつたし、読めるようになった。
- ★英語がとても楽しいと思うようになった。
- ★成長点は書く力、読む力がついたこと。
- ★英語が生活で使えるようになった。（ゲームとかで外国人と話せる）
- ★話すことが楽しい。
- ★小学校の時よりも楽しいし、ALTの先生も面白いし  
先生たちと英語で話していく「楽しい」と思えるようになった。
- ★やっぱりできると、楽しいと思える。



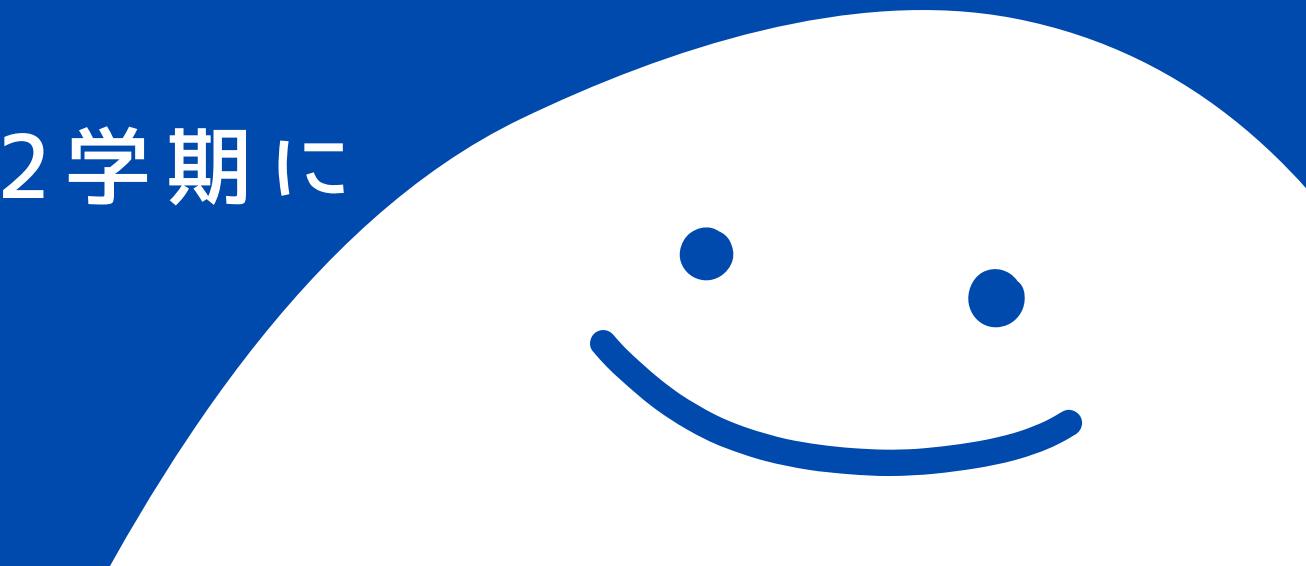
## 子どもたちの振り返り



★小学校のスピーキングテストはただ単に人の発表を聞いて、自分のばんが来たら発表するあまり楽しくなかったけど、中学校で改めて英語の授業で初めてスピーキングテストをするとなると、自分なりの表現や一定期間スピーキングをしていて「英語で話す」という力が小学校に比べるとついた気がする。

★言えるだけではなく書ける単語が増えたことと、読む力や理解する力が伸びたこと、わからない単語が減ったことです。小学校よりも話せることが大幅に増えたことで英語を学ぶことが楽しくなったり、英語の授業が楽しみになった、もっと学びたいと思えるようになりました。

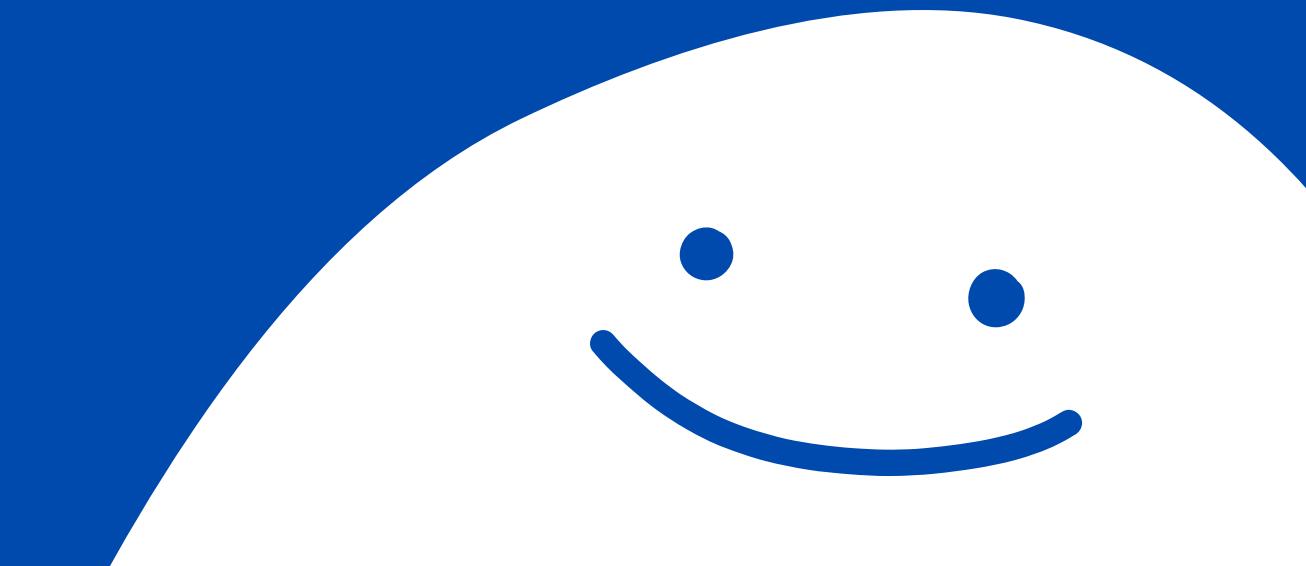
★4月の時はあんまり英語が好きじゃなかったけど、2学期になってちょっと英語が楽しいと思えるようになった。  
前より書くことができるようになった。



# 今年の1年生＊課題＊

- \*ローマ字でつまずいている生徒が、苦労している。
- \*生徒の学力の差が広がっている。
- \*家庭学習に向かえない生徒が一定いる。

→個別支援が追い付いていない  
これから難しくなっていく一方なので  
さらに指導改善が必要。





今後の展望



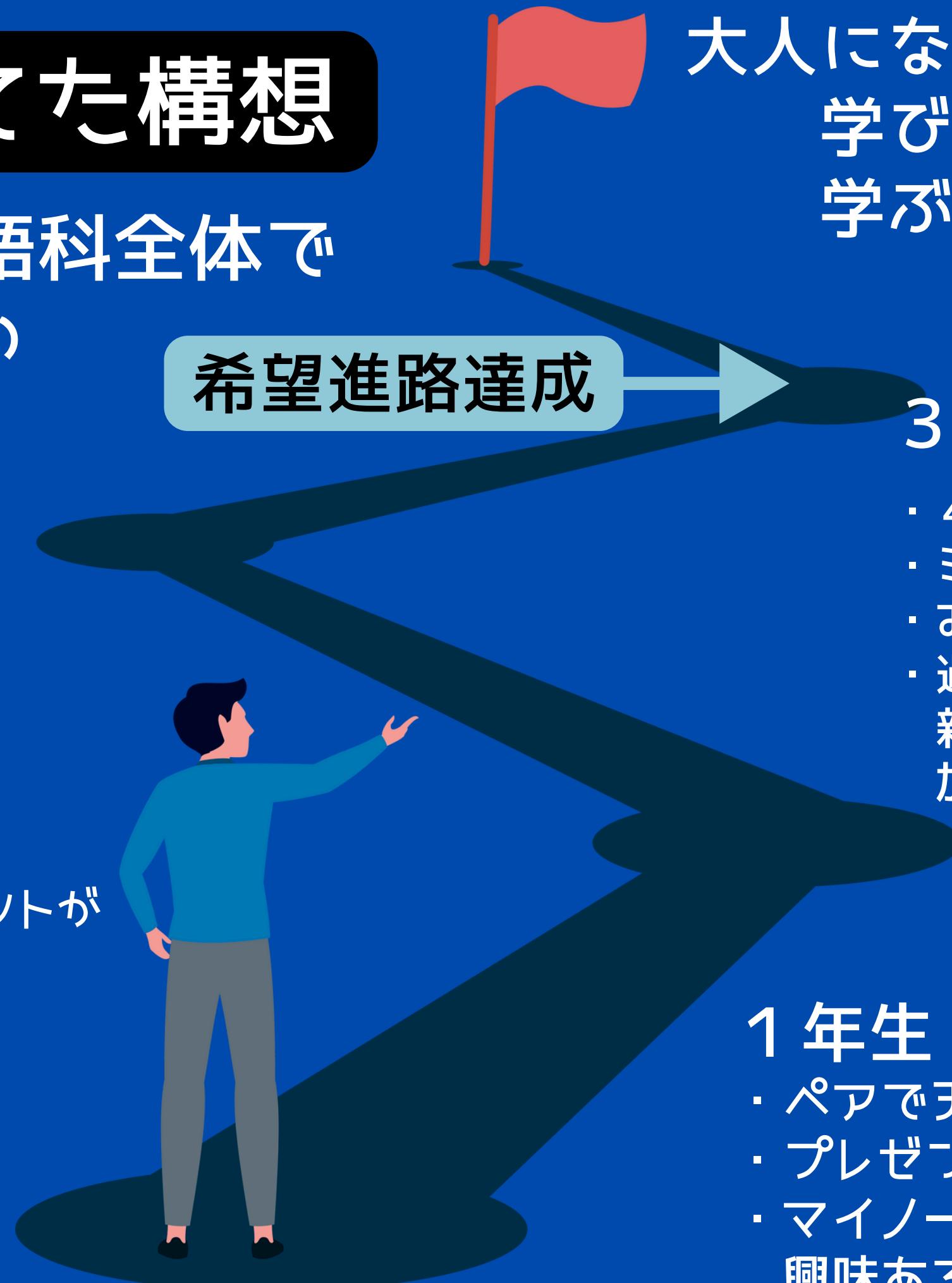
# R6 3月に立てた構想

3年間を見通した英語科全体で  
授業づくりを進めたい

希望進路達成

## 2年生

- ・3人でチャットができる。  
トリオ・ディスカッション
- ・グループ・プレゼンができる。
- ・友だちのマイノートに、コメントが  
書ける。



大人になっても学び続ける  
学び方を知っている  
学ぶ目的を知っている

## 3年生

- ・4人でディスカッションができる。
- ・ミニ・ディベートができる。
- ・みんなの前でプレゼンができる。
- ・過去のマイノートの内容を見返し、  
新たに身に付いた表現を使って  
加筆修正できる。

## 1年生

- ・ペアでチャットができる。
- ・プレゼンができる。
- ・マイノートに自分のこと、  
興味あることが書ける。

# 2年生に向けて

- ①英語に苦戦している生徒を巻き込む工夫
- ②表現の幅を広げて、伝えたい！聞きたい！  
分かり合えることの喜びを増やす
- ③1対1から、3人、4人での対話の力を付ける
- ④ペア対話→ディスカッション→ディベートへつなげる
- ⑤見方・考え方を働かせることができる場面づくり

生涯にわたって  
学び続ける生徒を育てる！  
英語で未来を切り拓く！

